



高校生へのチェーンソー操作指導

有用広葉樹の植栽など、森林整備をはじめとする活動を行っています。また異業種集団である特徴を活かし、会員自ら間伐材を活用した「高床式の四阿（おこまや）」木の香るトイレの建築に携わり、また地域のシンボルとして明治時代から回り続け、全国でも大変珍しくテ



ツリーハウスに集う「大室の森林をつなぐ会」の皆さん

WE LOVE forest !
林業研究グループ

NPO法人大室の森林をつなぐ会

栃木県日光市大室

設立年月	平成16年8月
会員数	20名（うち女性1名）



「鎮守の森」での森林ボランティアとの間伐作業

■熱い、個性派集団
日本一影が薄いと言われている栃木県において、今、最も活発で熱い林業グループが活動をしています。豊富な観光資源を有し、「日光東照宮」などの社寺が世界遺産に登録されるなど、全国での知名度も高い日光市の南東部の里山地帯を拠点とした「NPO法人大室の森林をつなぐ会」です。
当会結成当時、地域の森林、歴史・文化的施設等には元気がなく、衰退の一途を辿っていました。そのような中、「このままではいけない。多くの恩恵を授かってきた森林に恩返しをしなくては！」との思いから、「森林整備を通じ、地域の人と人をつなぎ、故郷の歴史や文化を後世につなぐこと」を目的として、平成16年8月、地元



通学路では死角となる個所の枝払いを実施

史や文化を後世につなぐこと」を目的として、平成16年8月、地元
の農林業、電設業等異業種の有志9名により当会は結成されました。現在は、女性1名を含む20名の大所帯となり、さらに熱い（暑苦しい!）個性派集団となっています。
■「21世紀型の林業グループ」の活動とは！
当会は、林業活動はもとより環境保全、文化継承や地域振興、そして県民参加による森林づくりを実践していく「21世紀型の林業グループ」。月1回の定例会のほか、活動拠点である「高麗神社」周辺森林（鎮守の森）でボランティアの皆さんとの間伐、下刈り作業や



大室地区の森林と水車小屋

業を担うであろう青少年への指導等の活動も行っています。
今年3月、日光市の支援を受けて鎮守の森山頂に整備していた高さ4m、床面積24㎡の夢の基地（ツリーハウス）が完成。新聞やホームページに掲載されると、次々に人々が訪れ、会員との賑やかな会話が鎮守の森の中に響き渡るようになりました。
■広げよう林業グループの輪、つなげよう明るく元気な地域づくり
これからも「21世紀型の林業グループ」としての活動が各地域に広がり、多くのグループとの交流を通じて、森林・林業を元気にしていきたいと考えています。

このほか、国の吸収源対策森林施業推進活動緊急支援事業の支援を受け、森林施業意欲が減退している森林所有者を戸別訪問し、施業意欲の喚起を図っています。また高校生へのチェーンソー操作指導等間伐体験、さらに森林の大切さの理解を深めてもらうため、地元小学生対象の森林・林業体験教室の開催など、次世代の森林・林

当地区は、東北自動車道・宇都宮ICから日光宇都宮道路へ入り、大沢ICで下りて20分程度の場所にあります。国際観光都市・日光にお寄りの際は、ぜひ、鎮守の森へもお立ち寄り下さい。会員が整備した潤いのある森や、木のぬくもりを感じとれる木造施設、名水「霧の水」、そして、会員との明るく楽しい会話など、すばらしい一時を過ごすことができるでしょう。（県西環境森林事務所 林業経営課普及チーム係長 亀田宜男）